

次世代レーザープラットフォームによる 包括的女性医療の展開

--DIVAによるREJUVENATIONとLONGEVITY--

現地開催

日時：2026年6月27日 (土)

17:40~18:30

会場：パシフィコ横浜 ノース
第7会場(3階 G301)

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1丁目1-2

座長



医療法人LEADING GIRLS 女性医療クリニック
関口 由紀 先生

演者



演題 1

女性QOL医療に期待されるフェムテックとdiVaの位置づけ

BASEGATE横浜関内クリニック

吉形 玲美 先生

演者



演題 2

フェムゾーンから全身へ

-JOULEプラットフォームによる包括的Rejuvenation戦略-

村尾産婦人科クリニック

梁木 富美子 先生

次世代レーザープラットフォームによる 包括的女性医療の展開

--DIVAによるREJUVENATIONとLONGEVITY--

日時：2026年6月27日（土）

17:40～18:30

会場：パシフィコ横浜 ノース
第7会場(4階 G403)



演題 1

女性QOL医療に期待されるフェムテックとdiVaの位置づけ

演題 2

フェムゾーンから全身へ

-JOULEプラットフォームによる包括的Rejuvenation戦略-

抄録

2010年代以降、女性医療概念の広まりとともに女性QOLに対応する医療への注目が増している。2014年The Menopause Society (旧NAMS)等のコンセンサス会議でGSM（閉経後尿路性器症候群）が定義されたこともその一つといえよう。しかしながら産婦人科一般診療の場面では性器、尿路症状に対し過少診断、過少治療である可能性が高い。その要因として一般診療で使用できる局所ホルモン剤に限られ、生活指導による改善にも限界があり、一方で手術療法を勧めるほどではないケースが多いといった現状がある。このような中、近年ではフェムテックの発展により幅広い選択肢が登場している。ホルモン療法選択の少ない日本では非ホルモン療法として腔マイクロバイオームにアプローチする経腔プロバイオティクス、骨盤底筋トレーニングトラッキングシステム、腔レーザー機器などが注目される。

今回紹介する次世代レーザープラットフォーム「JOULEX」は3つのハンドピース①diVa（腔レーザー）、②BBL、③プロフラクショナルレーザーを有す。diVaは世界唯一のハイブリッドレーザー技術により、低侵襲かつ短時間で腔粘膜表層・深層のコラーゲン構築が同時に可能となった。出産後の尿もれから更年期・高齢期に増加するGSMに至るまで、これまで十分な選択肢がなかった外科的治療の手前にある「生活の質に直結する悩み」に対応が可能となった。同時にBBLによる外陰や下腹部、全身皮膚のタイトニングや肌トーン改善などフェムゾーンから全身へシームレスな治療が行える。BBLは美容医療領域で国内でも普及しておりシミ、色ムラ、ニキビ、脱毛などにも応用が可能である。またBBLの広域光治療は継続的な照射による皮膚遺伝子レベルのリジュビネーションについて報告もあり、さらにプロフラクショナルレーザーを活用することで、幅広い肌悩みの改善、総合的なエイジングケアへのアプローチがワンストップで可能となる。

女性のロンジェビティに重点が置かれるようになった現在、JOULEXの活用による機能回復と組織のリジュビネーションを統合した包括的女性医療モデルが期待される。